

株式会社レアジョブ 2021年3月期第2四半期 決算補足説明資料

2020年11月12日

目次

1. 2021年3月期 第2四半期 実績
2. 2021年3月期 計画
3. 2021年3月期 第2四半期 トピックス
4. 今後の経営戦略

Appendix

1. 2021年3月期 第2四半期 実績

2021年3月期 第2四半期 決算サマリー

売上高は、前年同期比+27.7%の増収

- 直近5カ年の第2四半期累計売上高のCAGR21%を上回り、売上成長が加速
- 個人向けは新型コロナウイルス感染症流行による在宅時間の増加に伴い有料会員数が伸長し、前年同期比+27.7%の増収
- 法人・教育機関向けは顧客当たり売上が増加し、前年同期比+27.8%の増収

営業利益は、前年同期比+102.1%の増益

- 売上原価率は第1四半期比改善し、売上総利益は昨年同期並みに回復
- 生産性向上や事業効率化により、販管費の増加は売上増よりも緩やかとなり大幅な増益を達成

売上高、営業利益共に第2四半期としては、上場以来過去最高を更新

2021年3月期 第2四半期 決算概要

前年同期比で+27.7%の増収、+102.1%の増益を達成
新型コロナウイルス感染症流行によるニーズ拡大も取り込み、売上の拡大と
収益性の向上を両立

(百万円)

| | 2020年3月期 2Q累計 | 2021年3月期 2Q累計 | 前年同期比 増減率 |
|---------------------|------------------|------------------|--------------|
| 売上高 | 2,083 | 2,661 | +27.7% |
| 売上総利益 | 1,274 | 1,562 | +22.7% |
| 営業利益 | 182 | 369 | +102.1% |
| 経常利益 | 172 | 365 | +112.3% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 93 | 233 | +150.4% |

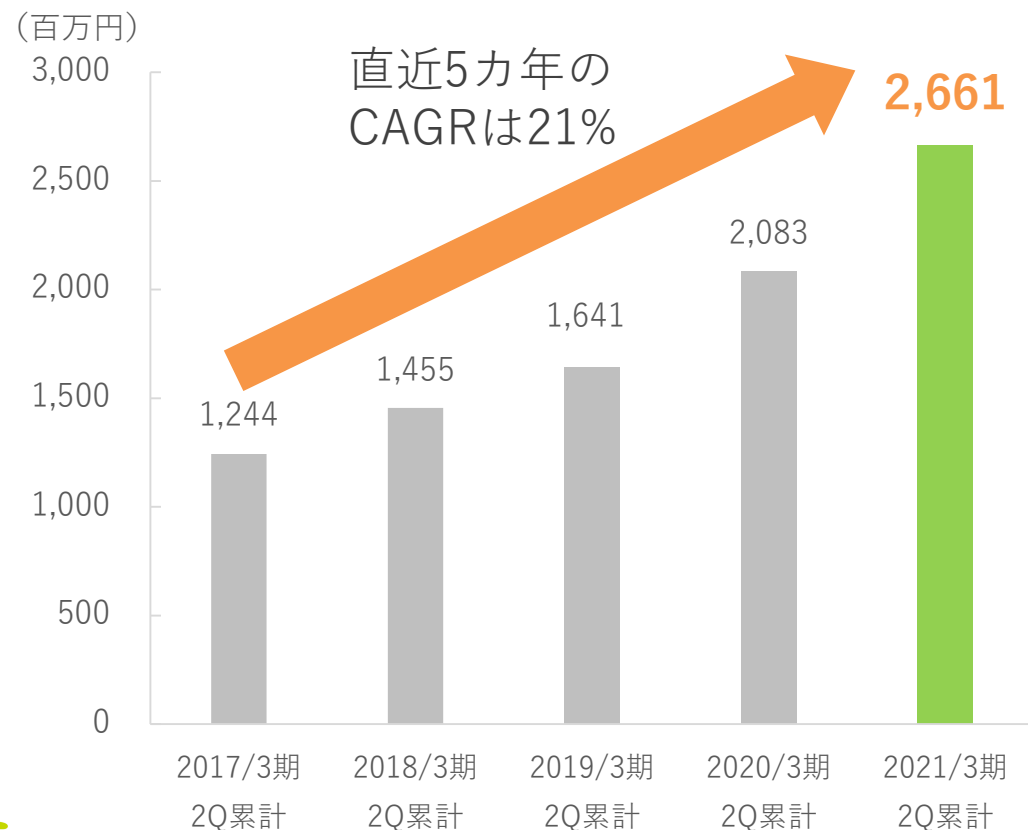
| | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| 営業利益率 | 8.8% | 13.9% | +5.1pt |
| ROE* | 14.4% | 30.6% | +16.2pt |

*年換算

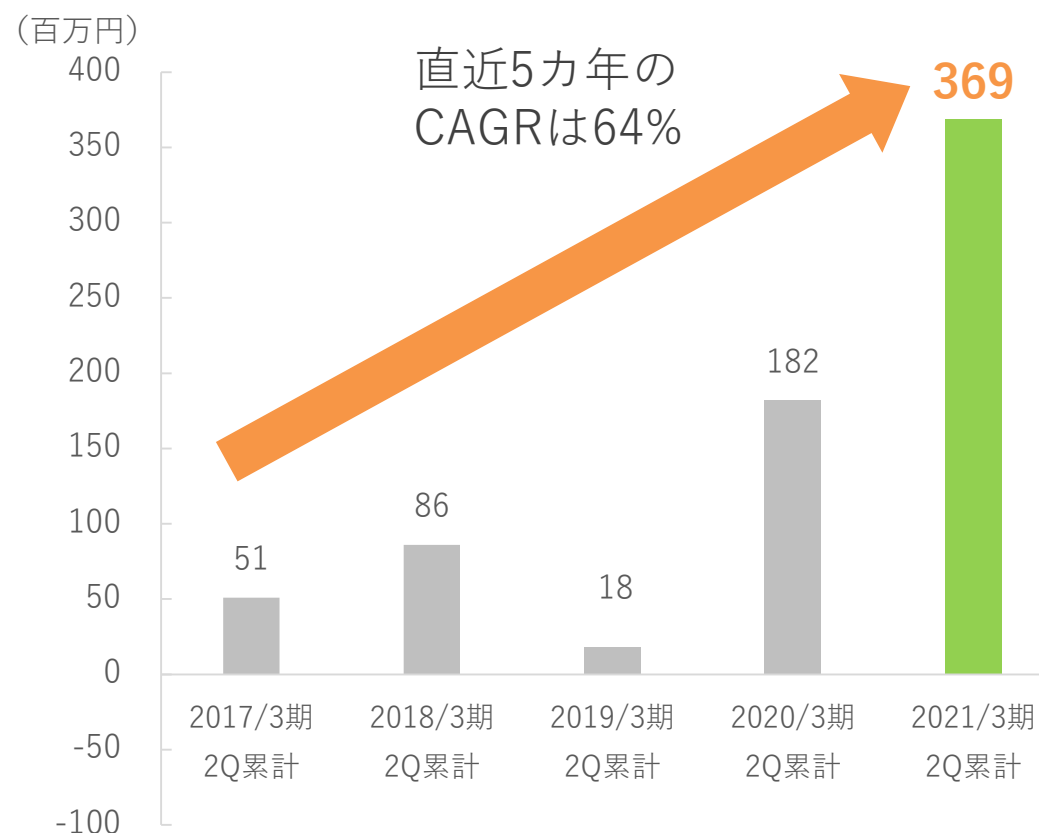
第2四半期連結業績推移

売上高、営業利益ともに第2四半期では上場以来、過去最高を更新
売上高成長率も向上

売上高



営業利益



2021年3月期 第2四半期 売上高内訳

個人向けは、新型コロナウイルス感染症流行による在宅時間の増加による需要増もあり堅調に拡大し、前年同期比+27.7%の増収

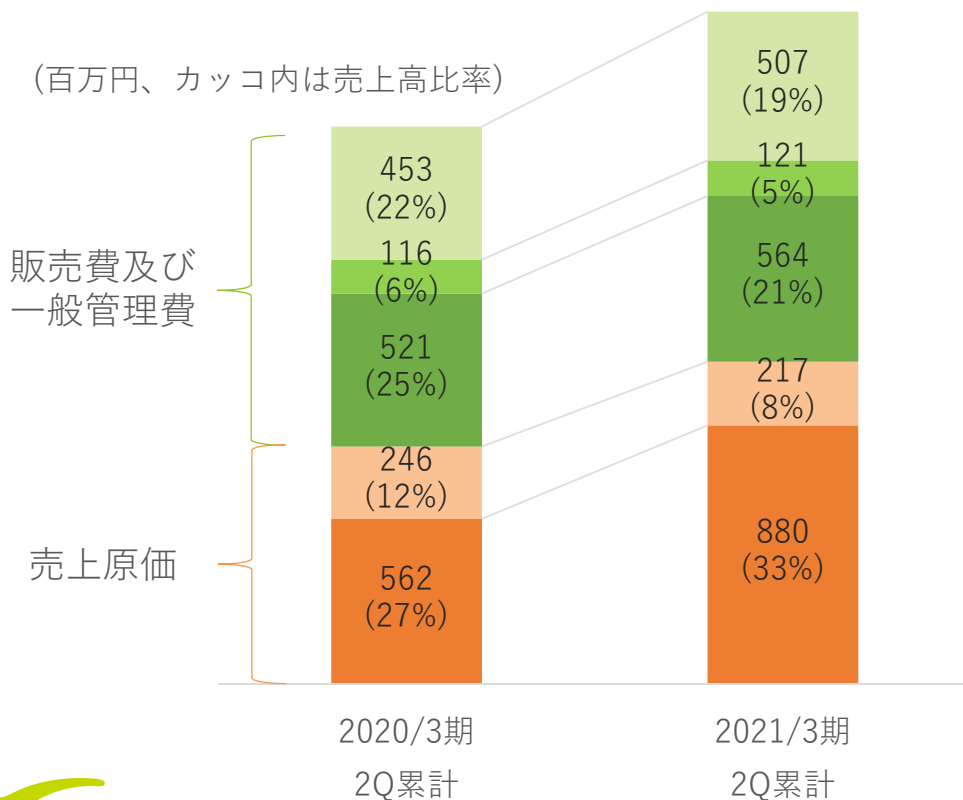
法人・教育機関向けは、リモートワーク環境のオンライン英語研修の実施ニーズも取り込み、顧客当たり売上高が増加し前年同期比+27.8%の増収

(百万円)

| | 2020年3月期 2Q累計 | 2021年3月期 2Q累計 | 前年同期比 増減率 |
|--------------------|------------------|------------------|--------------|
| 売上高 | 2,083 | 2,661 | +27.7% |
| 個人向け (構成比) | 1,482 (71.2%) | 1,893 (71.2%) | +27.7% |
| 法人・教育機関向け (構成比) | 600 (28.8%) | 767 (28.8%) | +27.8% |

2021年3月期 第2四半期 費用（売上原価、販売費及び一般管理費）内訳

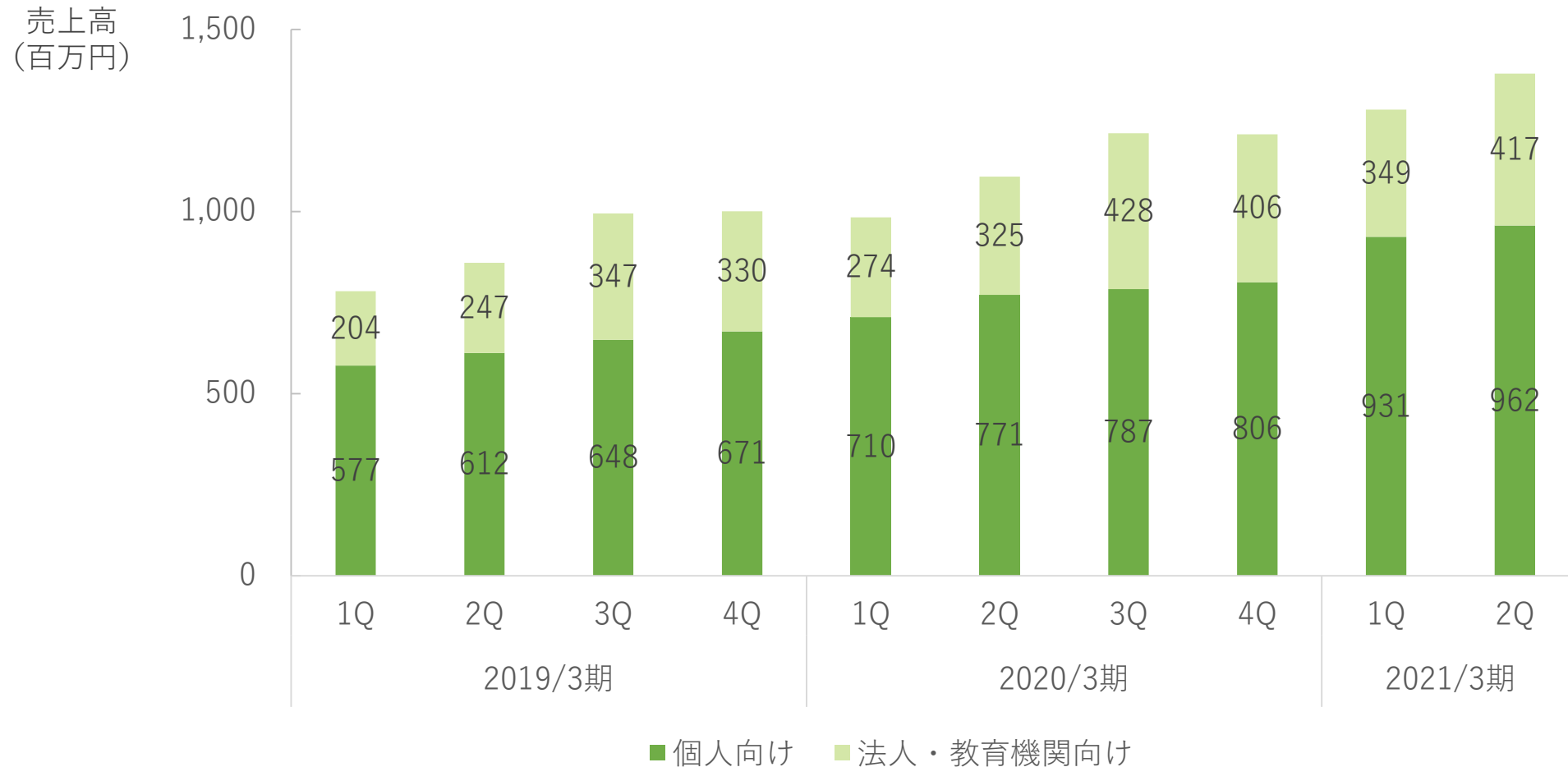
講師報酬（売上原価）は、新型コロナウイルス感染症流行による在宅時間増加のため、ユーザー当たりのレッスン受講数が増加し、売上高比率が前年同期比6pt増加
 販管費は生産性向上や事業効率化によりコスト効率化を進め、増加を抑制



| 費用 | 前年同期比増減額(率) | 増減要因 |
|-------------|-------------|--|
| その他販管費 | +54 (+12%) | コスト効率化により増加を抑制 |
| 広告宣伝費 | +5 (+4%) | 会員獲得の効率化により増加を抑制 |
| 人件費 (販管費) | +43 (+8%) | 会員数及び売上拡大のための従業員の増加により、増加しているが、生産性の向上や事業効率化が進み、売上に占める割合は低下 |
| その他売上原価 | △29 (△12%) | |
| 講師報酬 (売上原価) | +318 (+56%) | 会員数増加に伴うレッスン数の増加や、新型コロナウイルス感染症の影響による、ユーザー当たりのレッスン数の伸びにより増加 |

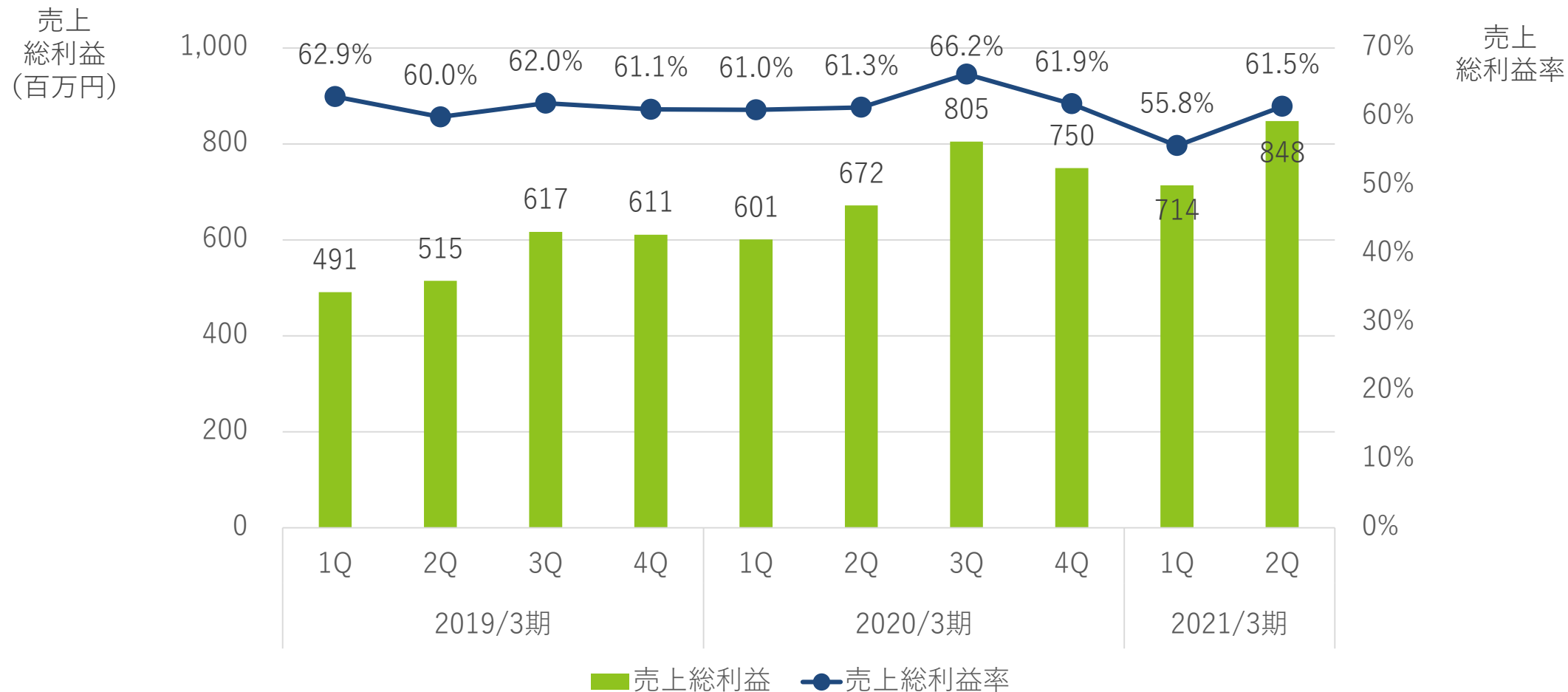
四半期ごとの売上高推移

個人向けは四半期単位で着実に積み上げ。法人・教育機関向けは個別契約の影響による増減はあるが、拡大傾向を継続



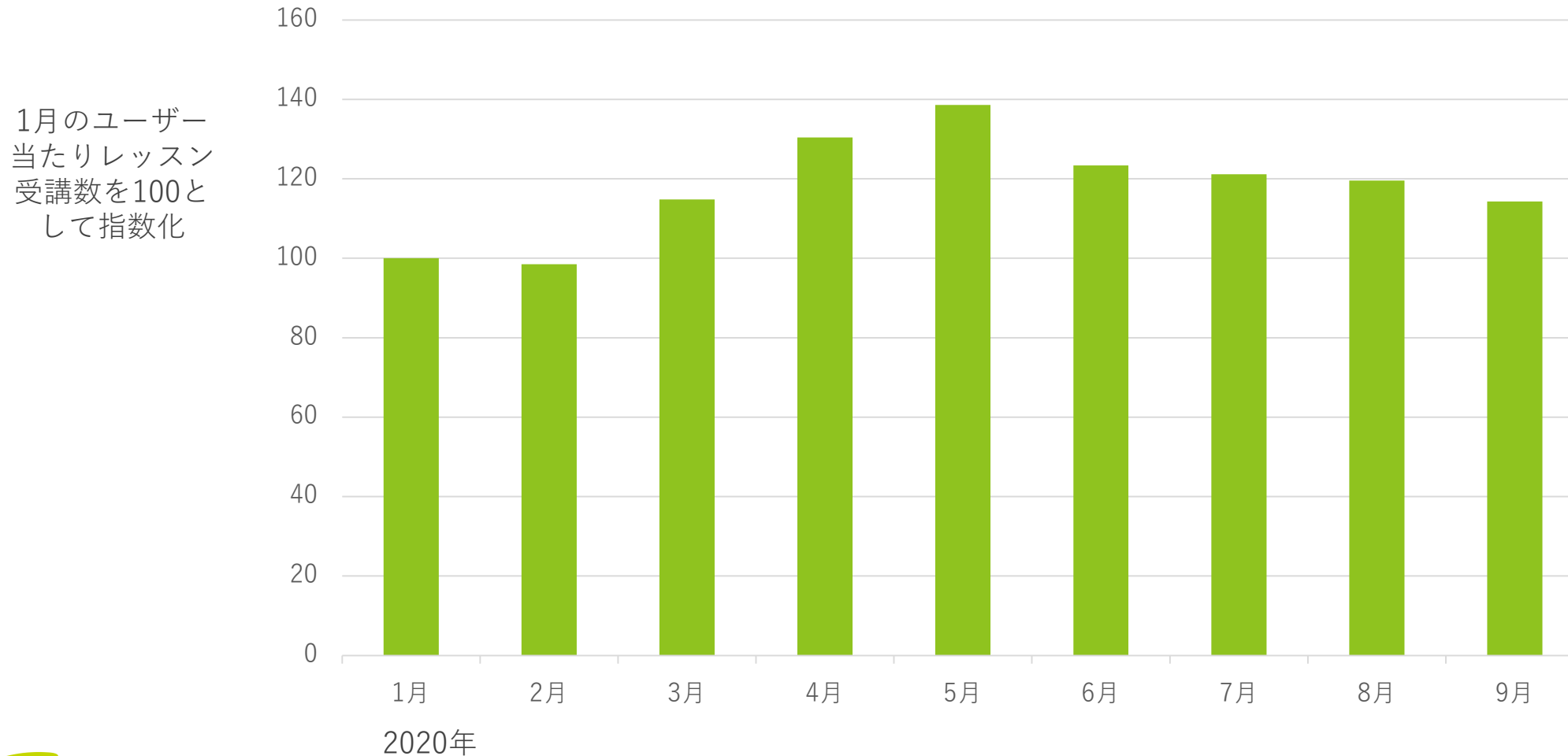
四半期ごとの売上総利益の推移

売上総利益率は第1四半期に新型コロナウイルス感染症流行の影響によるレッスン受講数増加で一時的に悪化したのが、第2四半期には回復



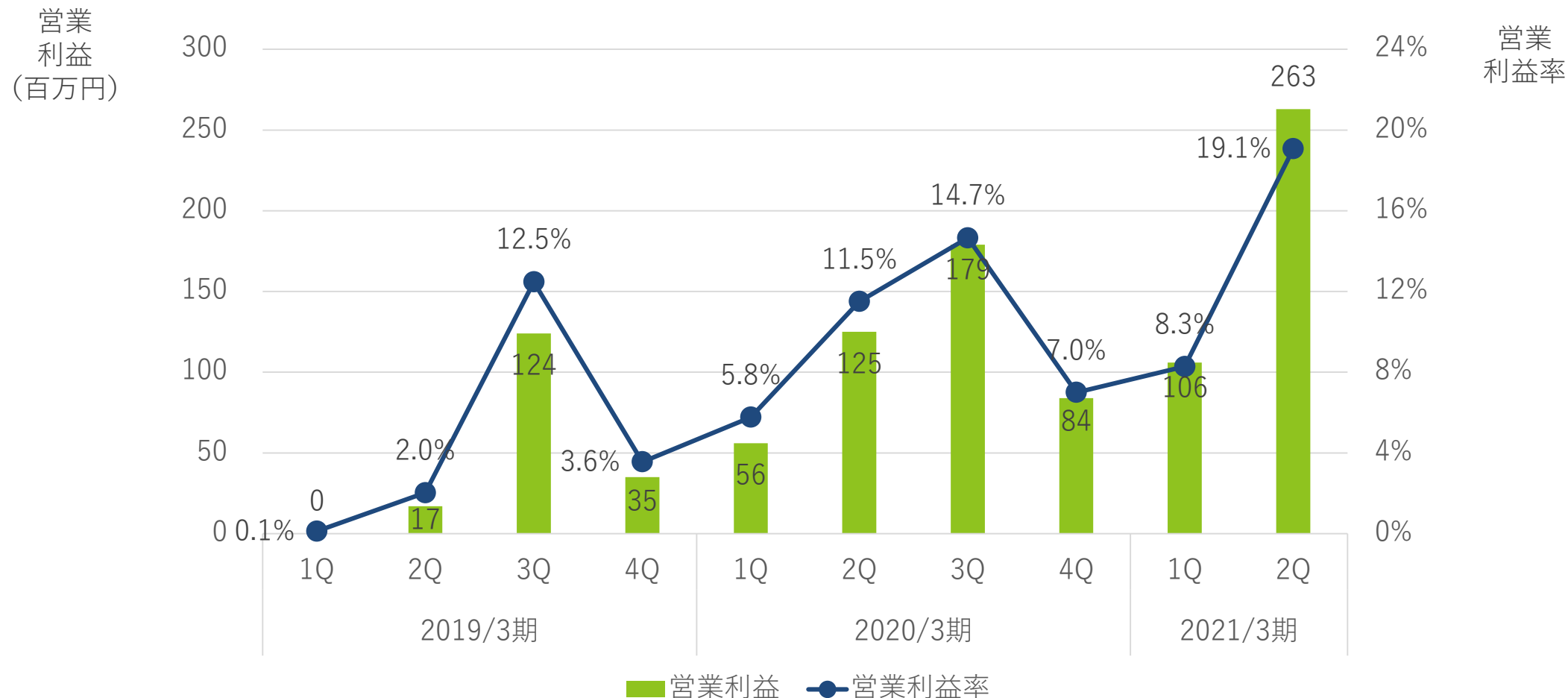
(参考) レアジョブ英会話のユーザー当たりレッスン受講数の推移

ユーザー当たりレッスン受講数は新型コロナウイルス感染症流行の影響により4,5月にピークを付けたが、6-9月は遡減している



四半期ごとの営業利益の推移

販管費の増減により、営業利益の四半期ごとの増減はありつつも、増加傾向を維持



2. 2021年3月期 計画

2021年3月期 通期業績予想の修正

第2四半期累計期間での新型コロナウイルス感染症流行による売上拡大と、ユーザー当たりレッスン受講回数の計画比下振れや事業効率化および生産性向上により、売上、利益ともに上方修正 (百万円)

| | 2021年3月期 期初計画 | 2021年3月期 修正計画 ¹⁾ | 増減額 |
|---------------------|------------------|--------------------------------|------|
| 売上高 | 5,300 | 5,400 | +100 |
| 個人向け | 3,761 | 3,800 | +39 |
| 法人・教育機関向け | 1,538 | 1,600 | +62 |
| 営業利益 | 500 | 640 | +140 |
| 経常利益 | 450 | 600 | +150 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 270 | 370 | +100 |

今後の新型コロナウイルス感染症が事業環境に与える影響が不透明なため、第3四半期以降の業績予想は期初の予想を据え置いた形で、通期業績予想数値を修正

1) 2020年10月14日に発表

2021年3月期 計画に対する進捗

売上高は第2四半期累計で約50%の進捗、営業利益に関しては50%を超えて進捗しており、好調な推移

(百万円)

| | 2020年3月期 実績 | 2021年3月期 修正計画 | 前期比 増減率 |
|---------------------|----------------|------------------|------------|
| 売上高 | 4,512 | 5,400 | +19.7% |
| 個人向け | 3,077 | 3,800 | +23.5% |
| 法人・教育機関向け | 1,435 | 1,600 | +11.5% |
| 売上総利益 | 2,829 | 3,150 | +11.3% |
| 営業利益 | 446 | 640 | +43.3% |
| 経常利益 | 415 | 600 | +44.3% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 205 | 370 | +80.3% |
| 営業利益率 | 9.9% | 11.9% | +2.0pt |
| ROE | 15.2% | 10.0%以上 | - |

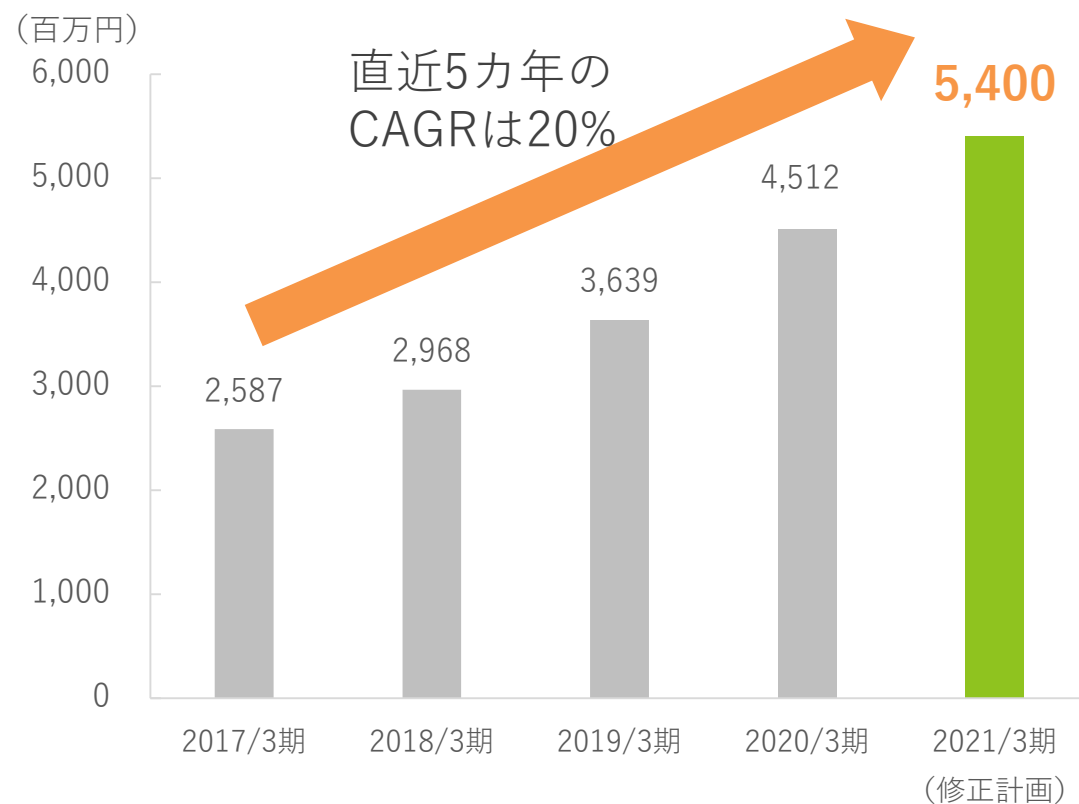
| 2021年3月期 2Q累計 | 進捗率 |
|------------------|-------|
| 2,661 | 49.3% |
| 1,893 | 49.8% |
| 767 | 48.0% |
| 1,562 | 49.6% |
| 369 | 57.7% |
| 365 | 60.9% |
| 233 | 63.0% |
| 13.9% | - |
| *30.6% | - |

*年換算

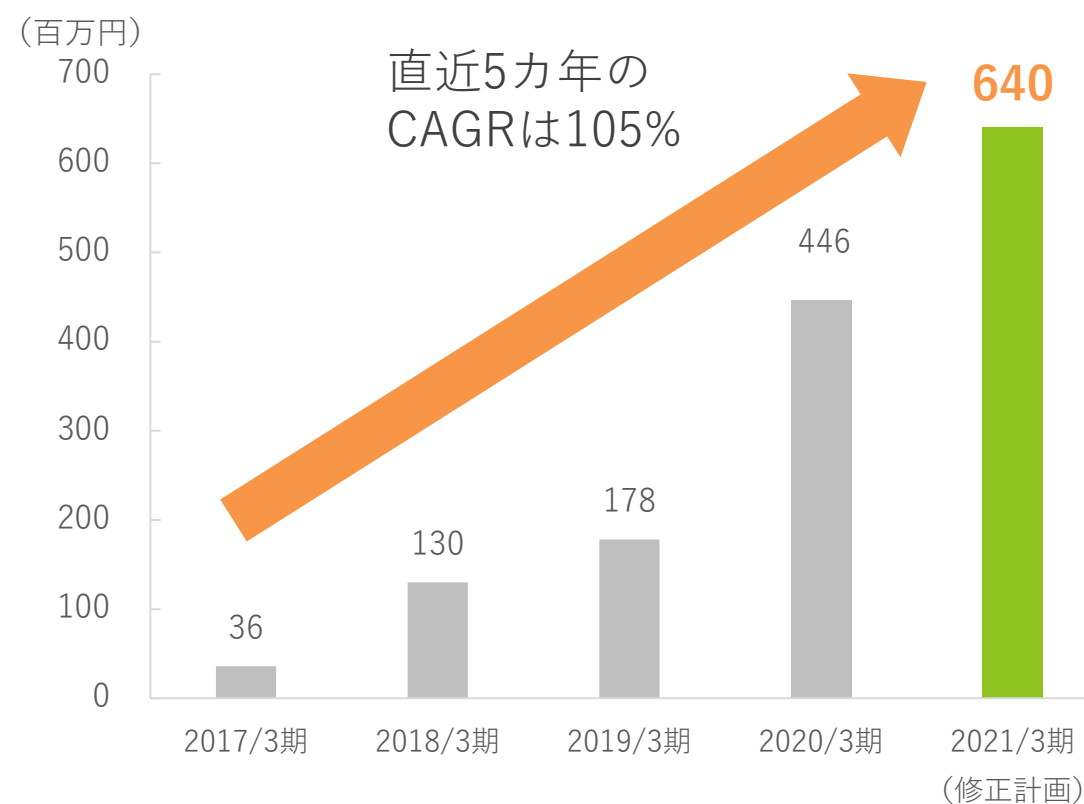
連結業績推移

売上高は創業以来13期連続の増収
営業利益は5期連続の増益、過去最高益を見込む

売上高



営業利益



2021年3月期 取り組み予定

収益性の向上、売上拡大、システム開発、テクノロジー活用に向けた研究開発に注力した事業運営を行う

収益性の向上

- 事業運営の体制が整いつつあり、フィリピン人講師を除く従業員の増加ペースは抑制
更なる生産性の向上、事業効率化を図る

売上拡大

- 個人向けは新型コロナウイルス感染症による影響下（在宅時間の拡大や休校措置）での、社会人や学生の需要増の取り込みによる売上成長を目指す
- 法人向けはオンライン研修や留学等からの切り替え需要の取り込みにより、売上成長を目指す

システム開発

- 今後の売上拡大やサービス拡充に向けたシステムの大規模なリプレースを行う

データやAI等のテクノロジーの活用に向けた研究開発

- AIと音声認識技術を組み合わせた自動採点のスピーキングテストPROGOSの拡販を目指す
- 引き続き、大量のレッスンデータを分析し、学習効率や学習継続率を高める方法の研究に取り組む

PROGOSとは

AIによる自動採点で、国際指標CEFRを基に日本人向けに設計されたCEFR-Jに準拠したビジネス英語スピーキング力を計測するサービス

ビジネス向け



ビジネスにおける
英語スピーキング力に特化

実際のビジネスシーンを踏まえた設問。
打ち合せ・面談、プレゼン、資料説明、ディスカッション、交渉などで話せる力を測定

共通のモノサシ



言語運用能力の“国際指標”
CEFR(CEFR-J)に準拠

評価基準は、世界に通用するCEFR(セファール：Common European Framework for Reference) を基にしたCEFR-Jで表示

利便性の高さ



試験時間は20分
AI 自動採点で即返却

ネットワーク環境さえあれば、いつでもどこでも受験可能なオンラインテスト。手続きは簡単で、自動採点のため短時間で評価結果が判明

学習への活用



結果を学習に生かせる
詳細なフィードバック内容

テスト結果のフィードバックシートには、総合評価と6つの指標別評価で、学習に役立つ詳細な情報を提供

これからの社会を見据えたPROGOSの位置づけ

ビジネス人材のスキルの一つとして、また、データに裏打ちされたタレントマネジメントの実現に向けた指標を提供していく

社会の動き

スキル重視型の社会の到来

- ・ ジョブ型人材、副業・兼業の浸透

データによる人材マネジメントの一般化

- ・ タレントマネジメントの浸透

必要となること

- ✓ 従業員や採用候補者のスキルの可視化
- ✓ スキルレベルの把握、継続的な向上

- ✓ 最適な人材配置のため、スキルデータx他データの組み合わせ
- ✓ 人材育成の最適化のため、スキルデータx学習履歴データの組み合わせ

PROGOSが提供すること

- ✓ 共通のモノサシにより計測する
- ✓ 高頻度で計測でき、スキル向上のためのフィードバックを行う

- ✓ 今後は、人材配置に資するデータ提供や、他の事業者との連携により、様々なデータとの組み合わせも志向する

3. 2021年3月期 第2四半期 トピックス

法人顧客に対するサーベイ結果

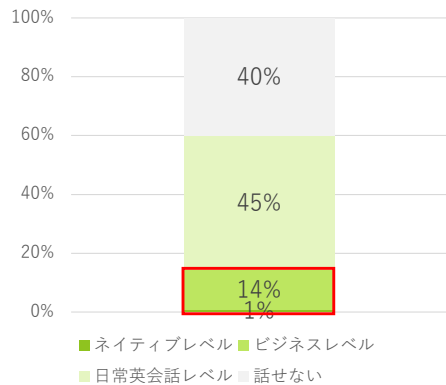
顧客企業の人事担当者が想定する以上に、ビジネスの現場における英会話力のある人材の不足が浮き彫りになった

業務における英会話力の必要性

業務に英会話が必要な層は40%存在するが、ビジネスレベルの英会話力があるという回答は15%にとどまり、英会話力の不足が実務に影響している

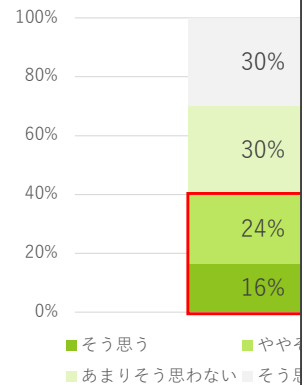
英会話力の認識

Q. ご自身の英会話力について、一番当てはまるものを下記よりお選びください。(単一回答)



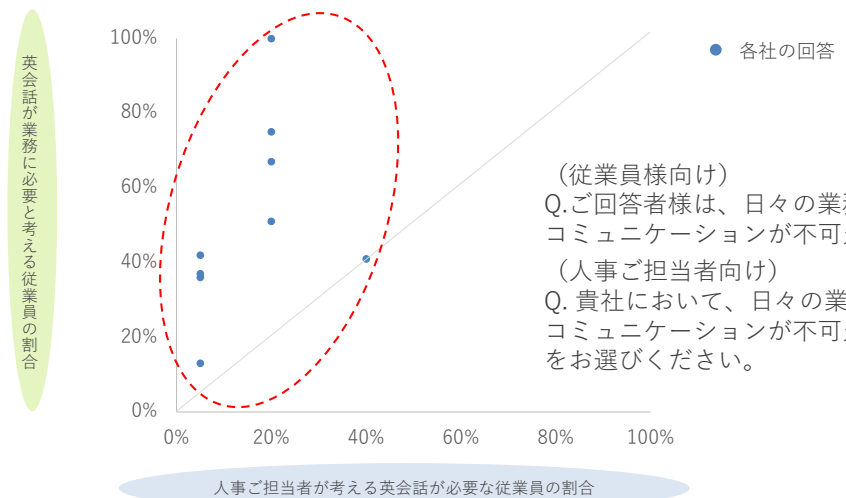
英会話力の必要性

Q. ご回答者様は、日々の業務に英会話でのコミュニケーションが不可欠でしょうか？



英会話力の必要性 - 人事と現場の乖離

人事担当者が想定する現場での英会話の必要性よりも、はるかに現場従業員が実感している英会話の必要性は高い



(従業員様向け)
Q. ご回答者様は、日々の業務に英会話でのコミュニケーションが不可欠でしょうか？

(人事ご担当者向け)
Q. 貴社において、日々の業務に英会話でのコミュニケーションが不可欠な社員の割合をお選びください。

付加価値向上と顧客基盤拡大の取り組み

高付加価値サービスによる顧客単価増と、顧客基盤拡大に向けた新サービスを投入

スマートメソッド®コースの個人向け展開

- ✓ 4か月で45万円＋初期費用5万円の成果保証型、高付加価値商品
- ✓ 2018年10月より法人向けに展開し、成果保証の実績を踏まえ個人向けに展開



英語を“確実に”話せるようにするために必要なすべてを一気通貫で提供

中高生向け「Escholar-Online英会話」投入

- ✓ GIGAスクール構想で推進される、教育現場でのICT環境の整備を見据え、学校と自宅でのシームレスな学びの提供を実現
- ✓ これまで、学校のカリキュラムに特化していたオンライン英会話サービスを、自宅でも受けられるサービスとして展開
- ✓ Z会グループとの協業により、サービスの加速的な展開を目指す

4. 今後の経営戦略

“With Corona, After Corona”の事業環境

個人

- ✓ リモート環境で働くことが一定程度定着
- ✓ 雇用環境の悪化により副業、兼業が進展
- ✓ 浮いた通勤時間が、学びの機会を創出

企業

- ✓ 業務以外にも採用や研修がオンライン化
- ✓ リモートワーク対応により、フリーランス等の登用も進展
- ✓ 海外渡航できない中で、海外事業もリモートマネジメント

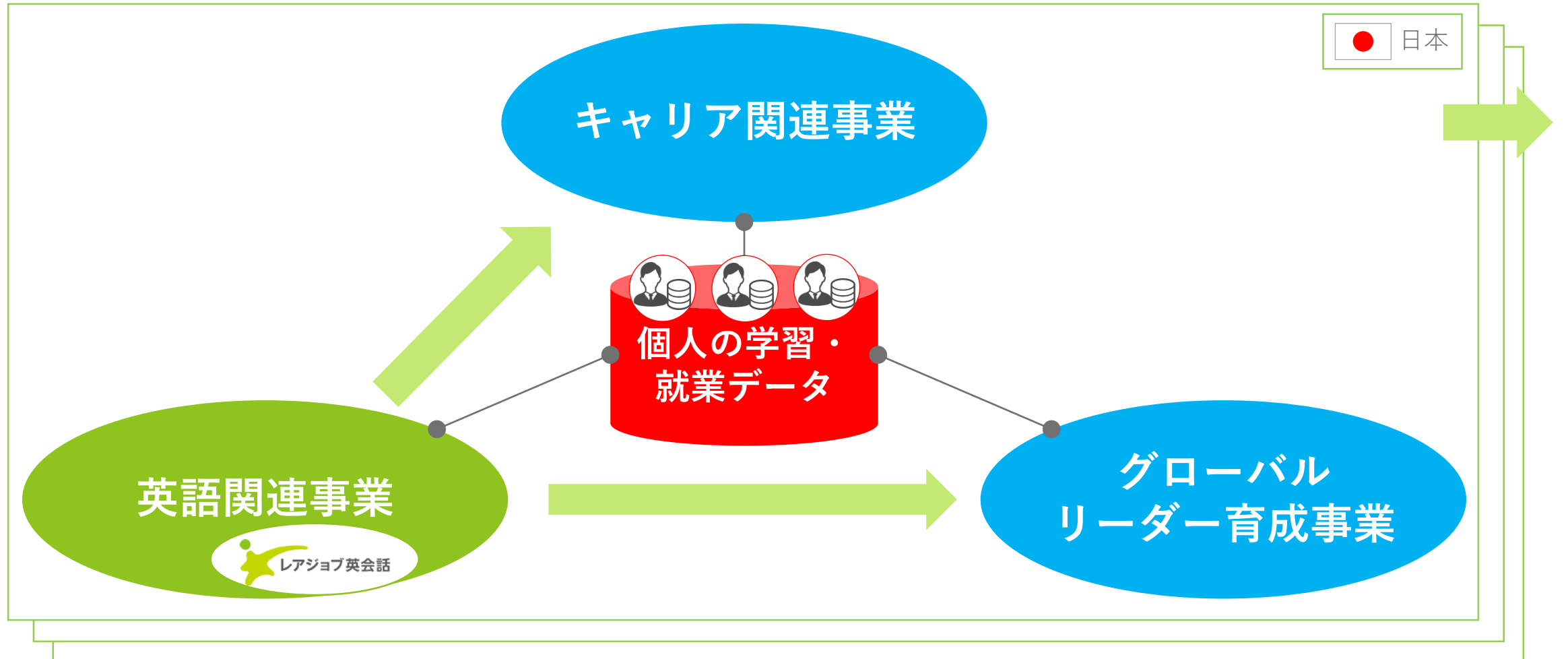
教育機関

- ✓ 休校措置により、学びのICT化/オンライン化が一定進展
- ✓ 家庭において、学校授業の不足を、民間のオンラインサービスで補う可能性

レアジョブが従来より目指した**学びのオンライン化が加速**していく
さらに、**スキルをベースにした働き方**への移行が新たな機会につながる

今後の事業展開

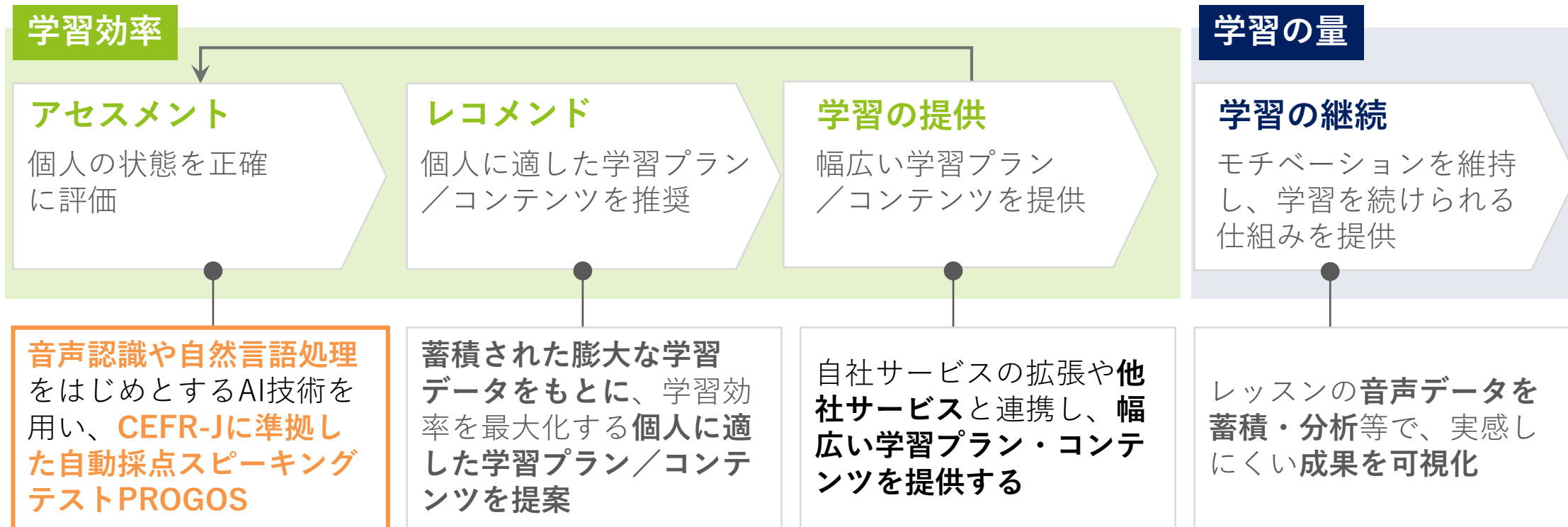
オンライン化、スキルベース化が進展する中で、英語関連事業を土台に、グローバルリーダー育成事業とキャリア関連事業を国内外に展開していく



テクノロジー活用による学習効果の飛躍的な向上に向けて

英語関連事業

テクノロジーを活用した学習効果の高いプロダクトを開発、他社とも連携
英語習得のプラットフォームを提供し、学習効果の飛躍的な向上を目指す



これらを一元化した、英語習得のプラットフォームの提供を目指す

事業展開の方向性

働き方が変化していく中で、新たな働き方のニーズに応えるサービスの提供を目指す

グローバルリーダー育成事業

- 英語はツールであり、**グローバルに活躍するためのスキル習得**を目指す
- 英語関連事業のフィリピン人講師や、ラーニングプラットフォームを活用し、**低コストでサービス化**する

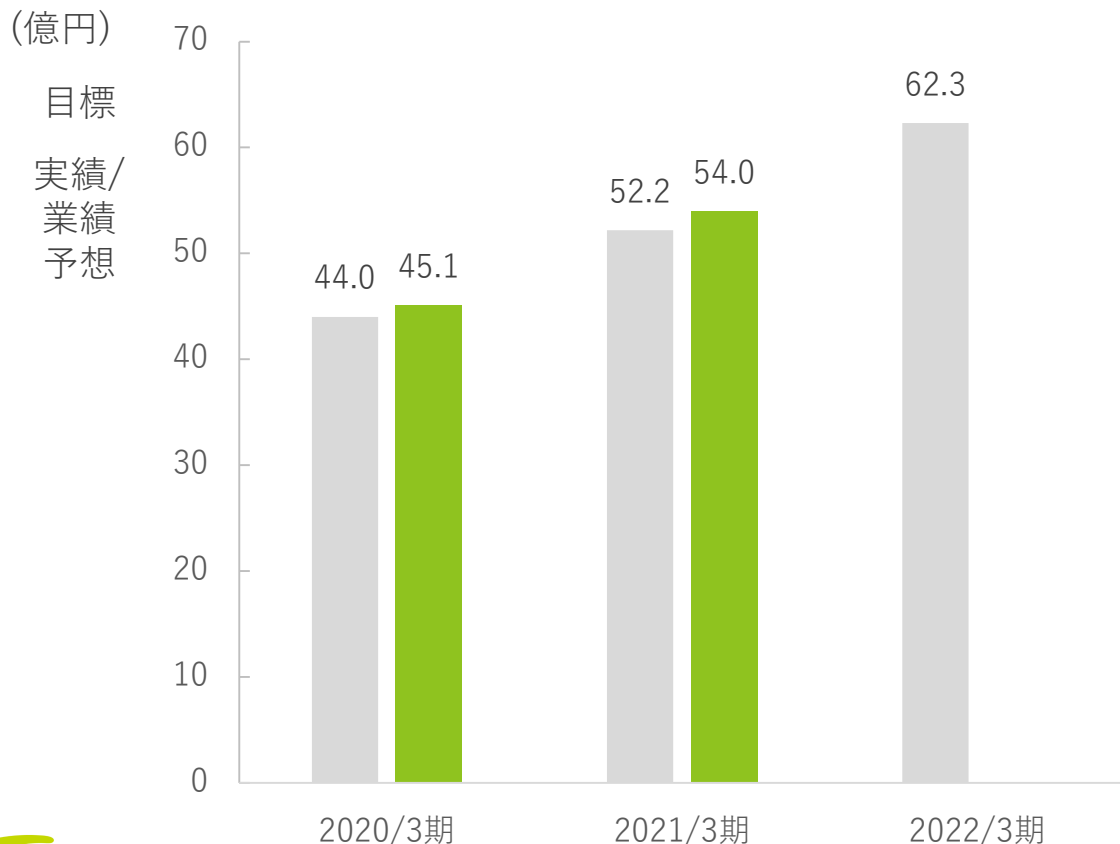
キャリア関連事業

- 英会話力や、グローバルスキルを身に着けた個人と、グローバルに活躍する人材を求める法人を**マッチングさせる**
- スピーキングテスト結果や、グローバルスキルのアセスメント結果を用い、**人材マッチング精度を飛躍的に向上させる**

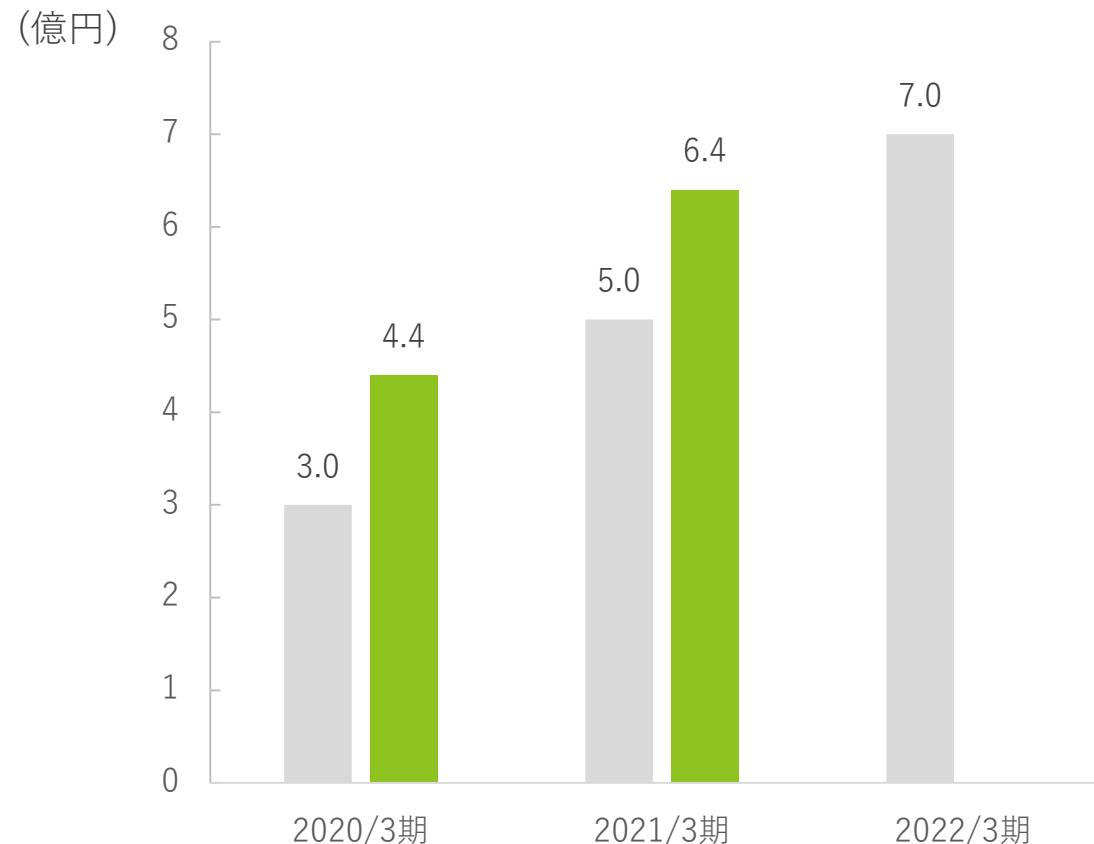
2020年3月期から2022年3月期までの3カ年の業績目標の達成状況

2021年3月期は新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、3カ年の業績目標の達成を見込む

売上高



営業利益



(ご参考) 3カ年の業績目標と進捗

(億円)

| | 2020年3月期 実績 | 2021年3月期 当初目標 | 2021年3月期 期初計画 | 2022年3月期 目標 | 2021年3月期 修正計画 |
|-----------|----------------|------------------|------------------|----------------|------------------|
| 売上高 | 45.1 | 52.2 | 53.0 | 62.3 | 54.0 |
| 個人向け | 30.7 | 33.1 | 37.6 | 37.4 | 38.0 |
| 法人・教育機関向け | 14.3 | 19.1 | 15.3 | 24.8 | 16.0 |
| 営業利益 | 4.4 | 5.0 | 5.0 | 7.0 | 6.4 |
| 利益の額* | 4.2 | 3.0 | 4.5 | 5.0 | |
| ROE | 15.2% | 10%以上 | 10%以上 | 10%以上 | |

*東証一部指定の形式要件の一つである、連結経常利益金額に少数株主損益を加減した利益の額

**上記の業績目標にはグローバルリーダー育成事業及びキャリア関連事業を含まない

Appendix

株式会社レアジョブ 会社概要



グループビジョン

Chances for everyone, everywhere.

会社概要

設立 2007年10月18日
資本金 578,591千円（2020年9月末現在）
所在地 東京都渋谷区神宮前6-27-8 京セラ原宿ビル2F
事業所 東京本社 関西支社 中部支社
公開市場 東証マザーズ（証券コード6096）

連結子会社

RareJob Philippines, Inc.
RareJob English Assessment, Inc.*
Geos Language Centre Pte Ltd.
株式会社エンビジョン
ENVIZION PHILIPPINES, INC.
RIPPLE KIDS EDUCATIONAL SERVICES, INC.

*登記準備中

取締役

代表取締役社長 中村 岳
取締役副社長 藤田 利之
取締役 安永 成志
社外取締役 三原 宇雄*
社外取締役 成松 淳*
社外取締役 五十嵐 幹*

(*監査等委員)

主な提供サービス一覧

個人向け

法人向け

教育機関向け

レアジョブ英会話

- ・日常英会話コース
- ・ビジネス英会話コース
- ・中学・高校生コース



スピーキングテスト

学習カウンセリング



スマートメソッド®コース

オンライン完結
成果保証型英会話プログラム



授業・講座等の
一斉導入

授業内で
マンツーマンレッスン

4技能に対応した
学校専用の豊富な教材



学生・子供

リップルキッズパーク

子ども専門オンライン英会話



レアジョブ英会話留学

成果を出すことにこだわった
海外留学プログラム

オフラインセッション

研修担当者向けオプション

留学プログラム等の
個別利用

課外でのレッスン受講



PROGOS

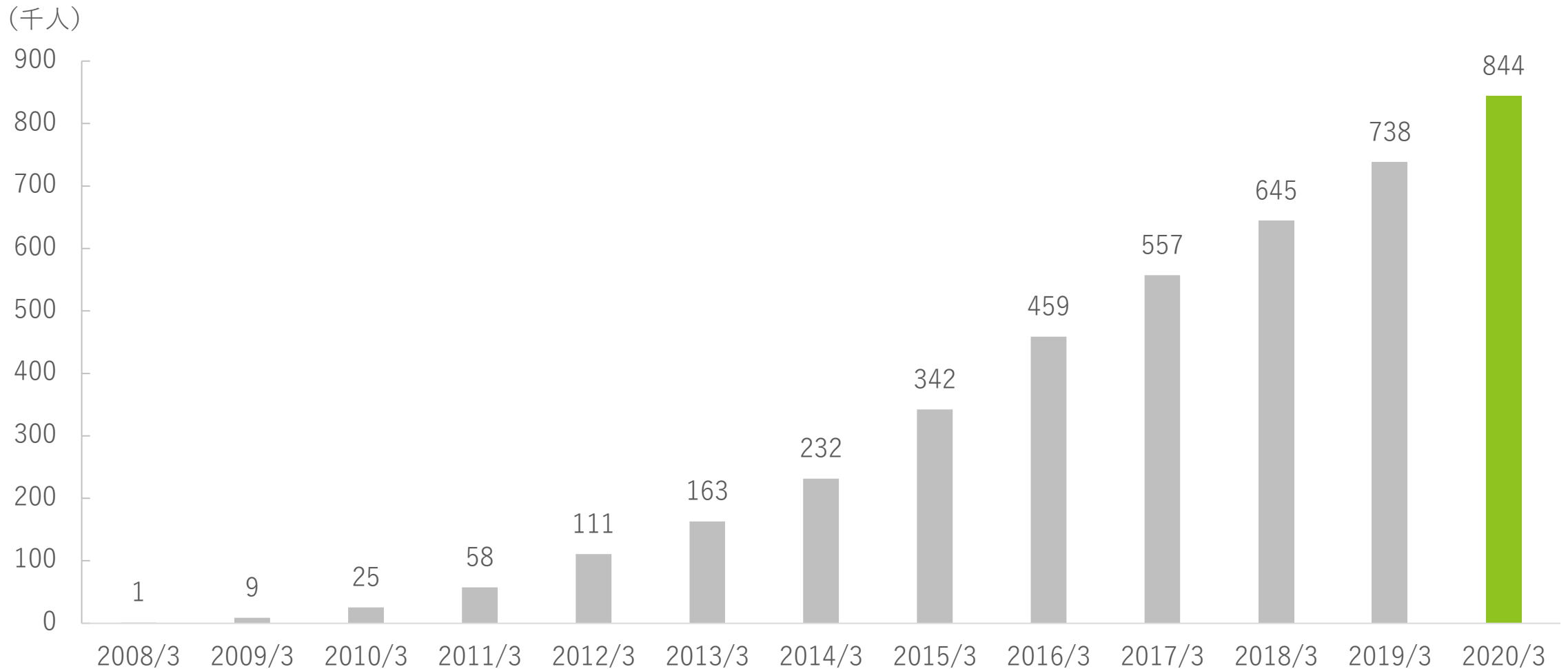
自動採点の英語スピーキング力測定システム

場所や時間を問わず、マンツーマンで毎日英語を話せる 累積無料会員90万人以上のオンライン英会話サービス



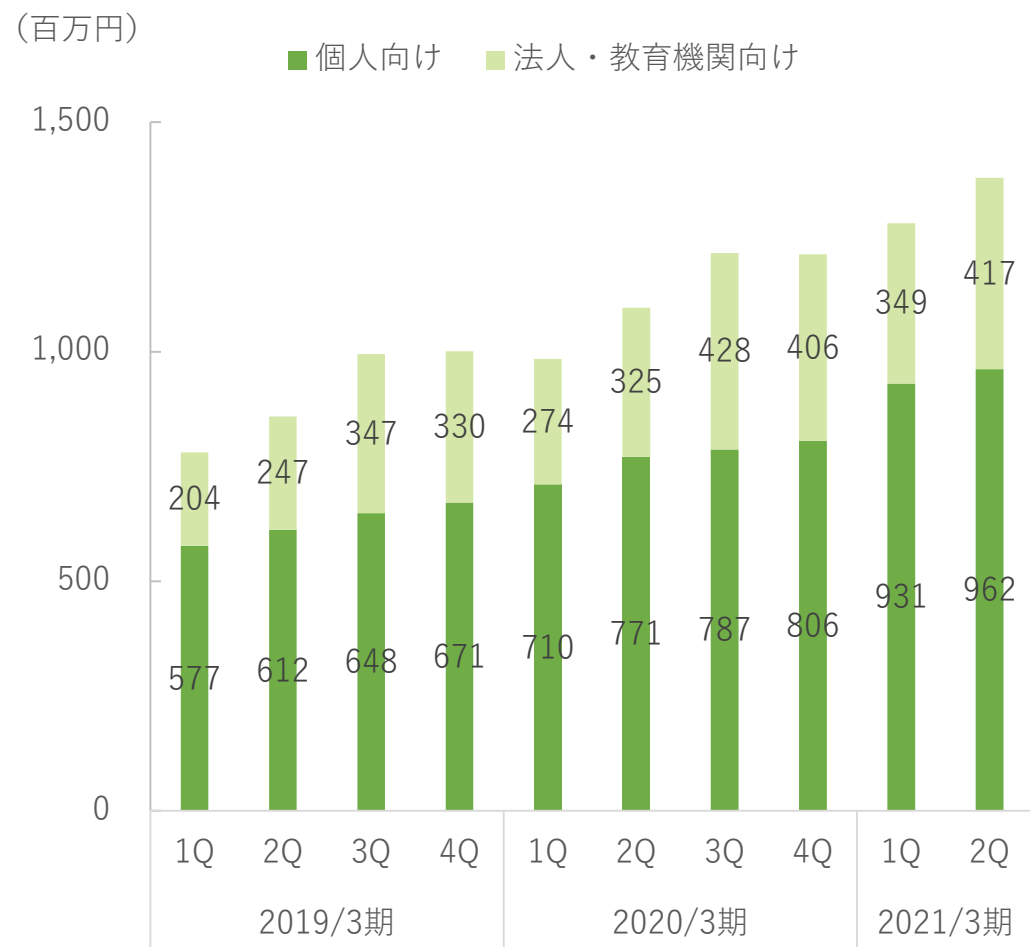
- 採用率約1%のフィリピン人講師が6,000名登録
- 独自システム「レッスンルーム」を利用し、Skypeからだけでなくブラウザやアプリからも受講可能
- 開講時間は早朝6時～深夜1時。当日5分前まで予約可能
- 毎日話せる日常英会話コースの毎日25分プランは月額5,800円

累積無料会員は順調に増加し、足元では90万人を超える

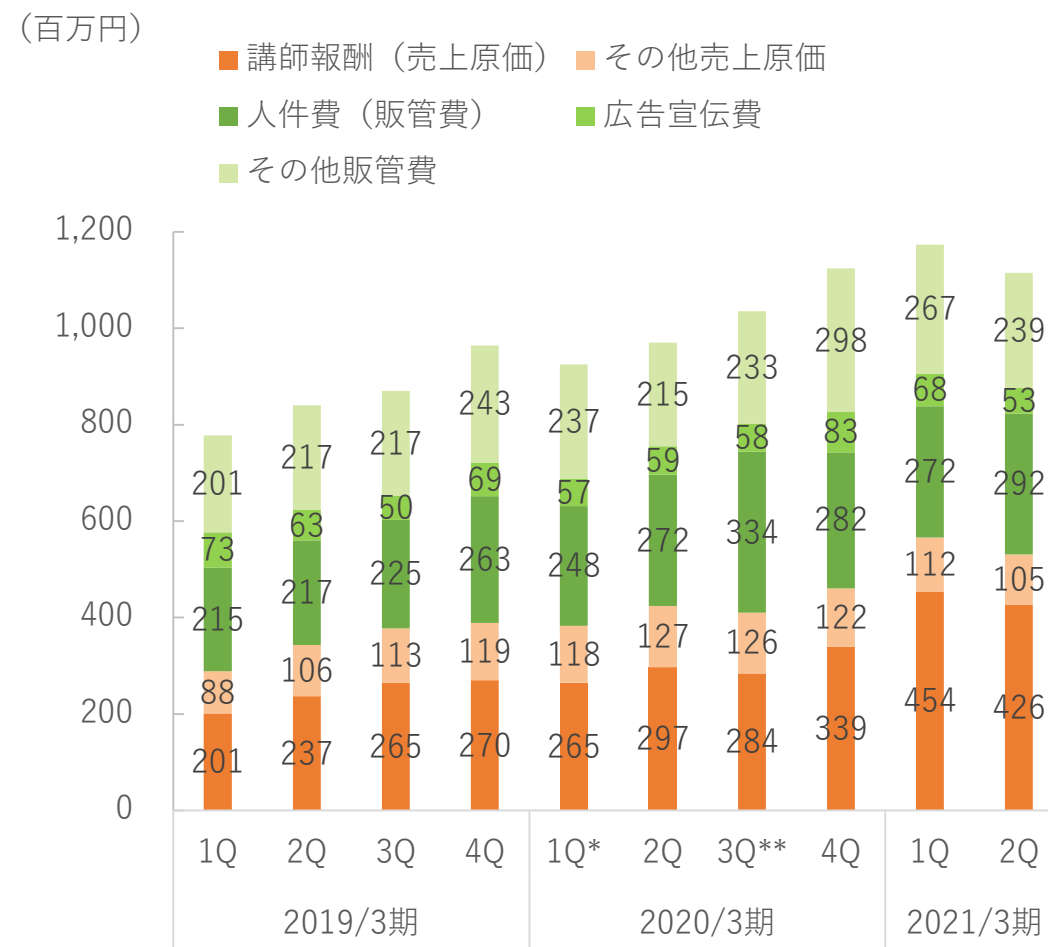


四半期売上高・費用（売上原価、販売費及び一般管理費）内訳

売上高



費用



* 海外子会社の決算日の差異及び移転価格税制への対応のため、講師報酬（売上原価）及びその他販管費について、前Q比で2020/3期1Qは費用増、3Qは費用減の影響あり

**業績に連動した賞与を一括で費用計上したため、人件費（販管費）が大きく増加

ESGに関する取り組み - Environment



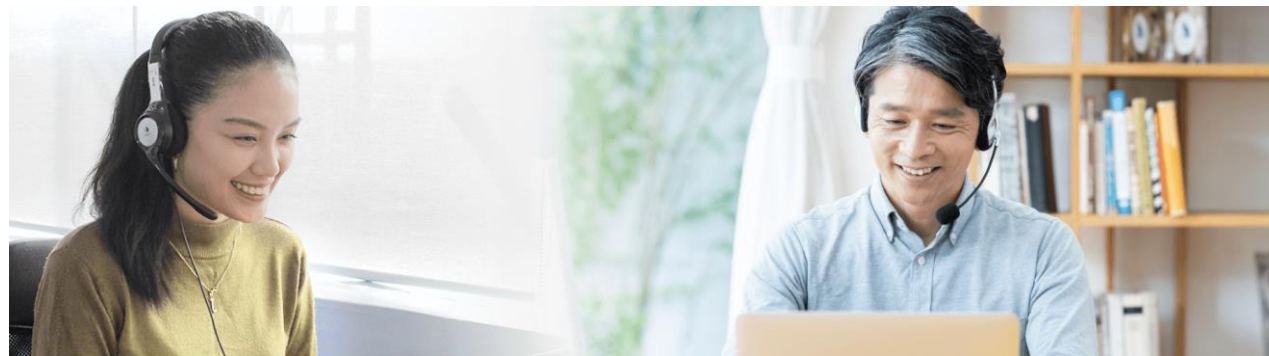
移動不要によるエネルギー消費削減

- 「レアジョブ英会話」では、インターネットがあればユーザー・講師共に、受講・提供による物理的移動は不要です。エネルギー消費を抑えることで、環境負荷低減に貢献してまいります。

ペーパーレス化の推進

- 「レアジョブ英会話」では、教材のほとんどを紙ではなくデータで提供しています。また、オフィス内においても会議の実施や稟議など社内文書の電子化を進め、紙の消費量削減に取り組んでいます。

ESGに関する取り組み - Social



遠隔教育で、誰しにも質の高い教育機会を

- いつでもどこでも、地理的要因を問わないサービスの特長を生かし、特に地理的特性の理由により、英語教員や外国語指導助手の採用が難しい学校向けに、サービスを提供しています。質の高い“遠隔教育”の実現に向け、2018年にはNTT西日本と高知県土佐町小中学校にて、文部科学省の実証研究事業を推進しています。

人と人を結び付けて働く機会を生み出し、活躍を推進

- 「レアジョブ英会話」の講師は、在宅講師が中心です。適切な環境さえあれば、自宅からレッスンを提供できます。自宅から提供できることで、育児や介護などの事情にかかわらず、スキルを活かした活躍の場を提供しています。

ESGに関する取り組み - Governance



法令遵守・社会規範・企業倫理の徹底など、適切な仕組み・体制の強化は重要課題と認識しています。

持続的に企業価値を向上させていくために、事業拡大と共に、コーポレート・ガバナンス体制の充実に取り組んでまいります。

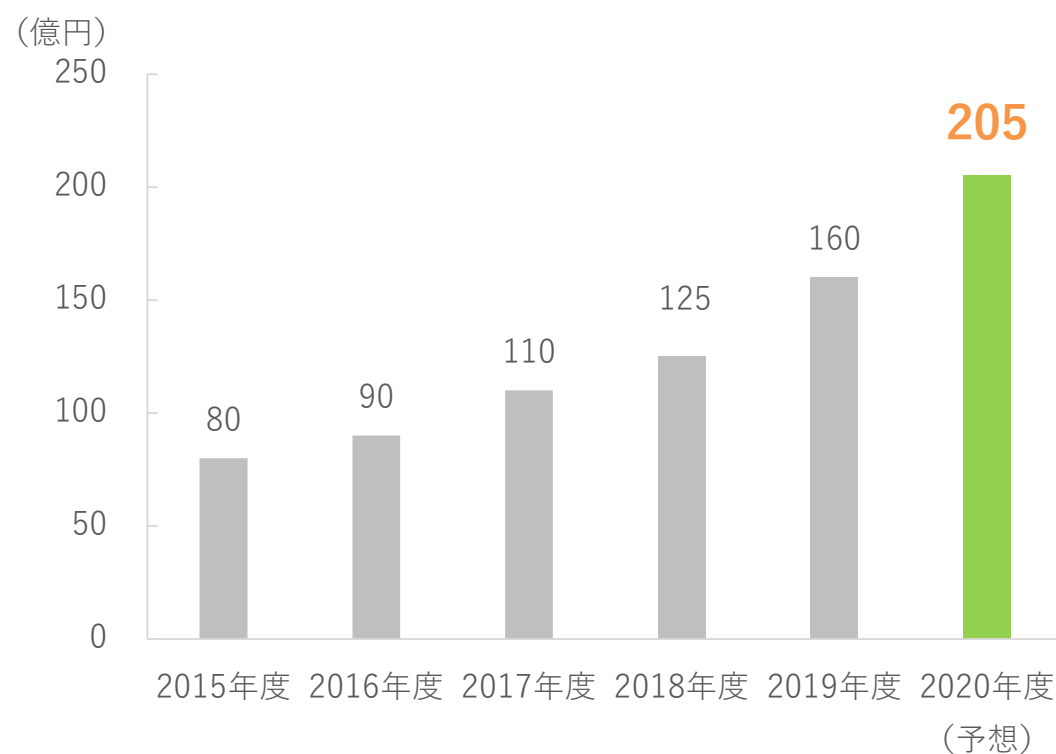
英語関連市場規模

オンライン語学市場は教室型と比べると依然として小さく、拡大余地は大きい
新型コロナウイルス感染症の流行下でも、オンライン語学市場は成長を見込む

外国語教室全体市場¹⁾



オンライン語学市場¹⁾



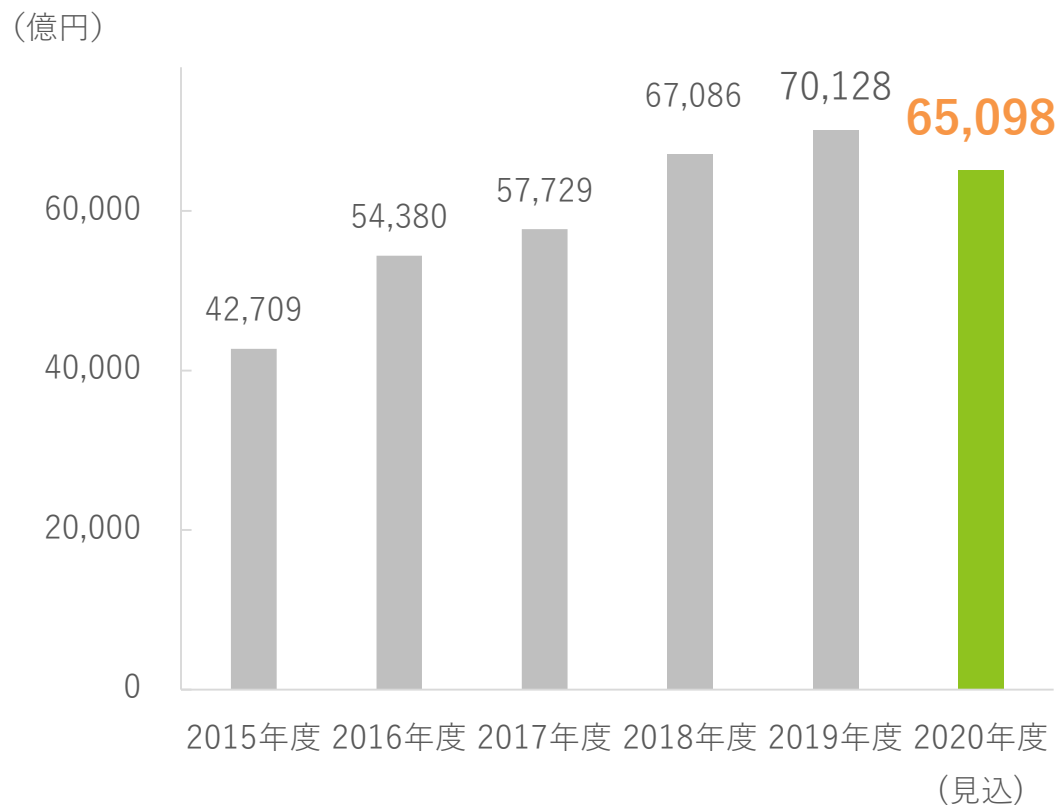
出所:

1) 矢野経済研究所「語学ビジネス徹底調査レポート 2020」

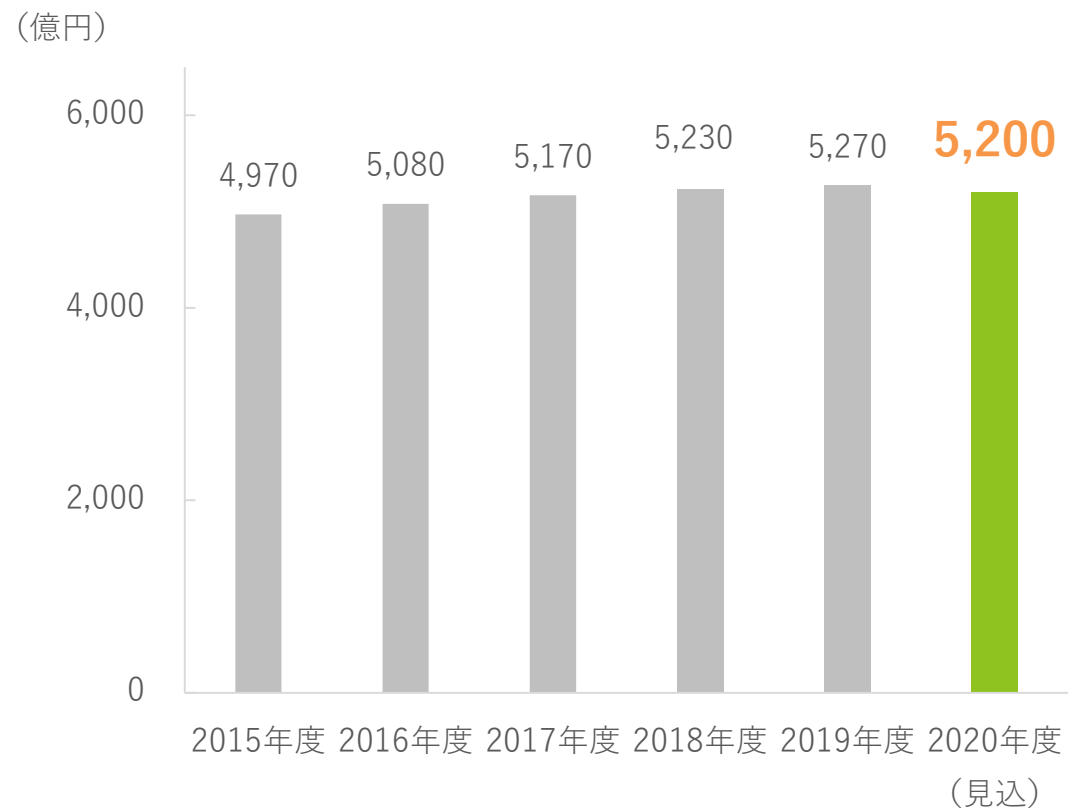
人材ビジネス市場規模

人材関連ビジネス主要3業界*市場¹⁾

*主要3業界とは、人材派遣業、人材紹介業、再就職支援業のこと



企業向け研修サービス市場²⁾



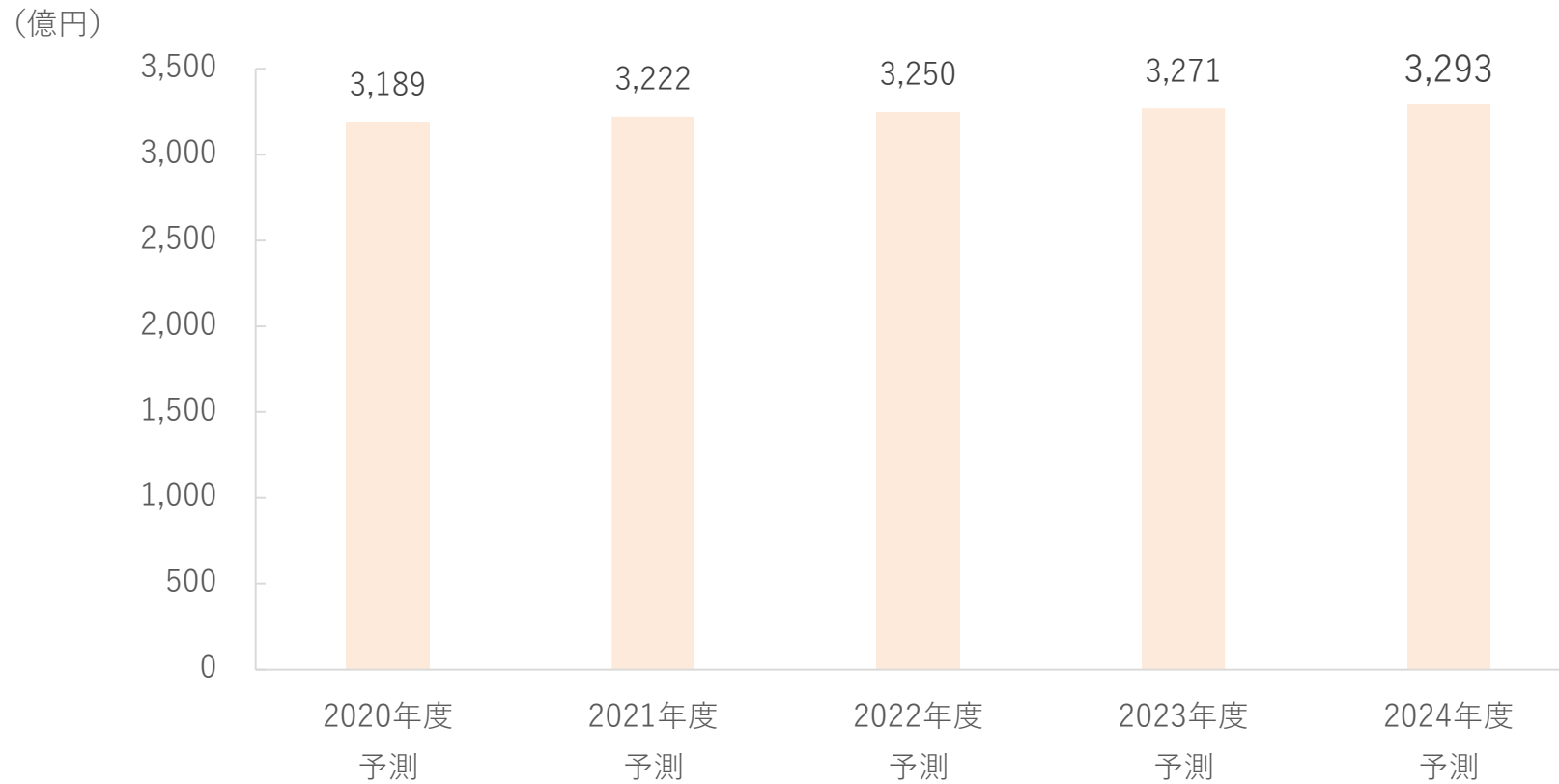
出所:

1) 矢野経済研究所「人材ビジネス市場に関する調査を実施 (2020年)」

2) 矢野経済研究所「企業向け研修サービス市場の実態と展望 2020」

学校向けビジネス市場規模

学校向けビジネス市場¹⁾



出所:

1) 矢野経済研究所 「学校向けビジネス徹底調査2020」

注意情報

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社レアジョブ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

お問い合わせ先

株式会社レアジョブ IR担当

MAIL : ir@rarejob.co.jp